書初め席書大会 入賞作品

1月11日に開催された「第15回金子鷗亭記念松前町児童生徒書初め席書大会」の特別賞入賞者と作品を紹介します。

松前高校書道部顧問の天満谷貴之教諭からの講評を紹介します。

金子鷗亭賞　村井杏里華（松前中3年）

金子鷗亭賞おめでとうございます。画数の多い課題ですが、丁寧な筆運びと、集中を切らさず書き上げたことで、作品全体に「美しさ」をもたらしたと思います。また、筆を運ぶタイミングが実に素晴らしく、伸びやかで表情豊かな作品になりました。加えて細字（名前）がとても上手です。筆のバネを効かせた筆力に大変魅力を感じています。高校でも、ぜひ書道を続けて欲しいと思っています。

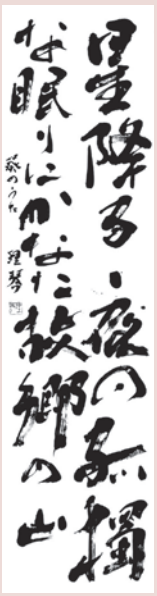
町長賞　福原　桃湖（松前高3年）

太細の変化を巧みに活かし、リズミカルな運筆で作品をまとめ上げました。また、潤渇の変化や空間処理にも気を配り、特に下段の細字が負けないよう、線に厚みを効かせしっかりと支えている点も、この作品の見所だと思います。日々の努力が実を結んだものと感じています。卒業後も、ぜひ、書との繋がりをもってほしいと願っています。町長賞おめでとう。

協議会会長賞　吉田　海奈（小島小5年）

作品に対して、とてもこだわりを持って取り組んでいると感じます。特に線質が素晴らしく、また一点一画の打ち込みが実に見事です。また、漢字とひらがなの大小もよく工夫されており、紙面を上手に活かした作品となりました。細字（名前）にも、注意を払い、丁寧に仕上げていることも大変立派です。これからも、より一層の活躍を期待しております。

審査委員長賞　澤田　理琴（松前高1年）



迷いなく一気に書き上げた豪快かつ豊かな作品です。作品から伝わってくる躍動感は、ダイナミックな運腕によるもので、作者のもつ魅力だと思っています。また、直線的に表現できたことで、作品が締まり緊張感と共に健康的な表情を見せています。やや運筆の速度については、今後の課題ではありますが、様々な古典の臨書を通して、より一層表現力を伸ばして欲しいと思っています。

校長会長賞　石戸　夢梨（松城小1年）

迷うことなく力強く筆を打ち込んでおり、線がとても素晴らしい作品です。特に、一画目の横線は、強さの中に、勢いも感じられます。全ては、この一本の横線によって作品が決まったといってもよいでしょう。加えて、字形バランスもとても上手です。これからも、書道の時間を楽しみに、どんどん上達して欲しいと思っています。また、普段の学習ノートも、「正」を書いた時の気持ちで、丁寧に美しく書いてくれることを期待しています。

社会教育委員長賞　吉田　小里（小島小4年）

ゆったりした運筆の中に、緊張感をしっかり感じ取れる作品です。特に、ひらがなの「し」・「い」は、字形も美しくそしてリズムに富んでいます。それを支える漢字も一点一画を大事に、筆力の加減を活かしながら力強く線を引くことができました。細字（名前）も丁寧に書けており、配置にも工夫を凝らしています。今回の受賞を励みに、これからも勉強をはじめ、いろいろなことに挑戦し活躍してください。

ライオンズクラブ賞　堀川　佳乃（松前中2年）

これぞ、積み重ねてきた書道教育の集大成だと思います。堀川さんの作品には、「間」がしっかり感じられ、書く瞬間の「間合い」、書き上げた時の「緊張感」が絶妙な加減で処理されており、圧倒的な存在感で、実に素晴らしい作品です。また、基礎基本はもちろんのこと、作品の「切れ」と「文字造形」がとても美しい、加えて細字（名前）も見事です。凛とした風格ある表現は、作者の持つ最大の魅力だと思います。将来がとても楽しみです。